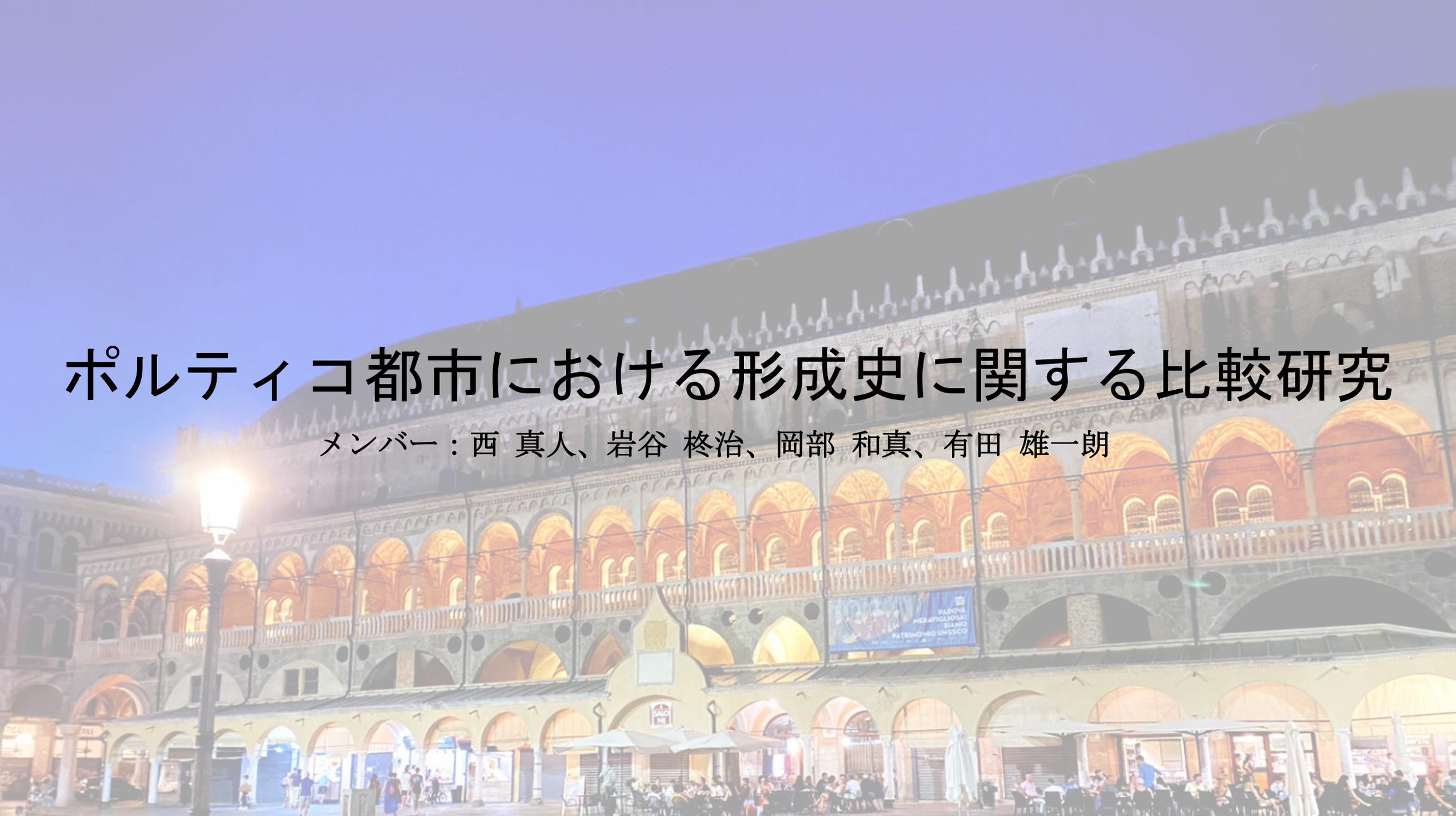


# ポルティコ都市における形成史に関する比較研究

メンバー：西 真人、岩谷 柊治、岡部 和真、有田 雄一郎



# ポルティコ都市における形成史に関する比較研究

メンバー：西 真人（代表者） 近畿大学学部4回生都市歴史研究室

岩谷 柊治 近畿大学学部4回生都市歴史研究室

岡部 和真 近畿大学学部4回生都市歴史研究室

有田 雄一郎 近畿大学学部4回生都市歴史研究室

訪問国：イタリア、スペイン、フランス

訪問先：パドヴァ、ヴィチエンツァ、トレヴィーゾ、メストレ、ヴェローナ、  
フィレンツェ、ローマ、アマルフィ、バルセロナ、パリ

## 研究背景

イタリアの多くの都市が古代ローマ時代には都市が誕生し、中世、近世、近代と時間軸とともにレイヤーが重なりながら都市が形成されている。しかし、実際には、ローマ帝国崩壊とともに都市が縮小し、なかには放棄されたところもあった。古代ローマ時代に形成された構造物は現在の地下で発見されることが多い。現在見られる都市の景観は、むしろ中世を起源としているところが多く存在する。

## 研究目的

本研究は、ヴェネト州に位置するパドヴァ、ヴィチエンツァ、トレヴィーゾ、メストレを対象とし、都市の形成過程を考察することを目的とする。ヴェネト州には「ポルティコ」と呼ばれる公共に開いた半屋外の柱廊があり、中世に形成された都市に多く存在する。ルネサンス以降、貴族の邸宅にはポルティコが否定される場合もあった。また、庶民住宅にもポルティコが施されており、ポルティコを考察することで、これまで見向きもされなかった小さな建築も考察対象となる。さらに、建設された時代で形状が異なり、大小様々なポルティコがあることがわかっている。本研究では、ポルティコに着目して、具体的に建築物がどのように変化し、現在の都市景観がつけられてきたのかを考察する。

名前		西真人、岩谷柊治	有田雄一郎、岡部和真
日にち	曜日		
8月7日	月	東京→Venezia	東京→Venezia
8月8日	火	Mestre→Barcelona	Mestre→Barcelona
8月9日	水	Barcelona	Barcelona
8月10日	木	Barcelona→Paris	Barcelona→Paris
8月11日	金	Paris	Paris
8月12日	土	Paris	Paris
8月13日	日	Paris→Padova	Paris→Padova
8月14日	月	Padova	Padova
8月15日	火	Padova	Treviso
8月16日	水	Padova	Treviso
8月17日	木	Padova	Treviso
8月18日	金	Padova	Treviso
8月19日	土	Padova	Treviso
8月20日	日	Vicenza	Treviso
8月21日	月	Vicenza	Mestre
8月22日	火	Vicenza	Mestre
8月23日	水	Vicenza	Mestre
8月24日	木	Padova→Firenze	Treviso→Firenze
8月25日	金	Firenze→Roma	Firenze→Roma
8月26日	土	Firenze	Firenze
8月27日	日	Firenze→Mestre	Firenze→Mestre
8月28日	月	Mestre	Mestre
8月29日	火	Vicenza	Vicenza
8月30日	水	Padova	Padova
8月31日	木	Treviso	Treviso
9月1日	金	Mestre	Mestre
9月2日	土	Mestre	Mestre
9月3日	日	Venezia	Venezia
9月4日	月	Padova	Mestre
9月5日	火	Padova→Amalfi	Mestre→Amalfi
9月6日	水	Amalfi	Amalfi
9月7日	木	Amalfi→Mestre	Amalfi→Mestre
9月8日	金	Mestre→Verona	Mestre→Verona
9月9日	土	Verona→Mestre	Verona→Mestre
9月10日	日	Venezia→ドバイ	Venezia→ドバイ
9月11日	月	ドバイ→Tokyo	ドバイ→Tokyo



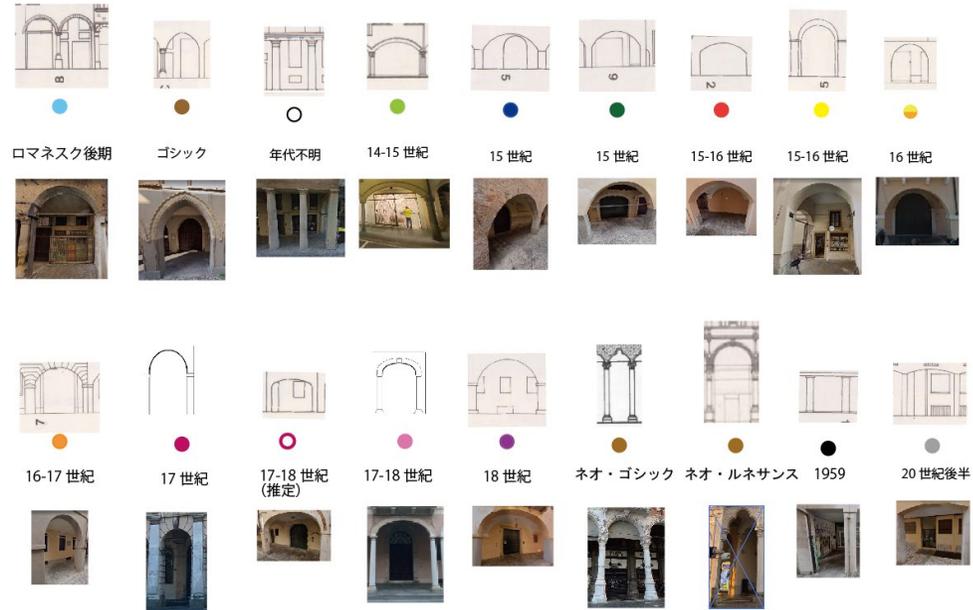
検証したポルティコの形状の分類  
 CROCE Gaetano (a cura di), *Padova i rilievi del centro storico*,  
 Padova: La Garangola, 1988、Googleストリートビュー、現地調査  
 写真をもとにヴェネト州の地図サイト(II Geoportale dei dati  
 Territoriali) に追記。  
 作成：西真人、中澤流星、吉田真子、岩谷柊治、有田雄一郎、岡部  
 和真、樋渡彩

## ・研究成果

- ・パドヴァの中には5931個のポルティコ検証をした。
- ・16世紀のポルティコが2445個確認できた。

パドヴァはヴェネツィア共和国の支配下だった16世紀に都市が発展し、現在に続く街並みが形成されたと推測できる。

パドヴァのポルティコの形状と年代



16世紀のポルティコ  
 撮影：西真人



16世紀のポルティコ  
 撮影：西真人



パドヴァの大聖堂  
 撮影：西真人

## ・研究成果

ヴィチェンツァは、「ヴィチェンツァ市街とヴェネト地方のパラーディオ様式の邸宅群」として世界遺産に登録されているように、建築家アンドレア・パラーディオ設計の建築が多くあることで知られる街である。

中心地では、道が比較的細く、建物が密集しているところに貴族の邸宅や大聖堂があったので、その分迫力もすごかった。

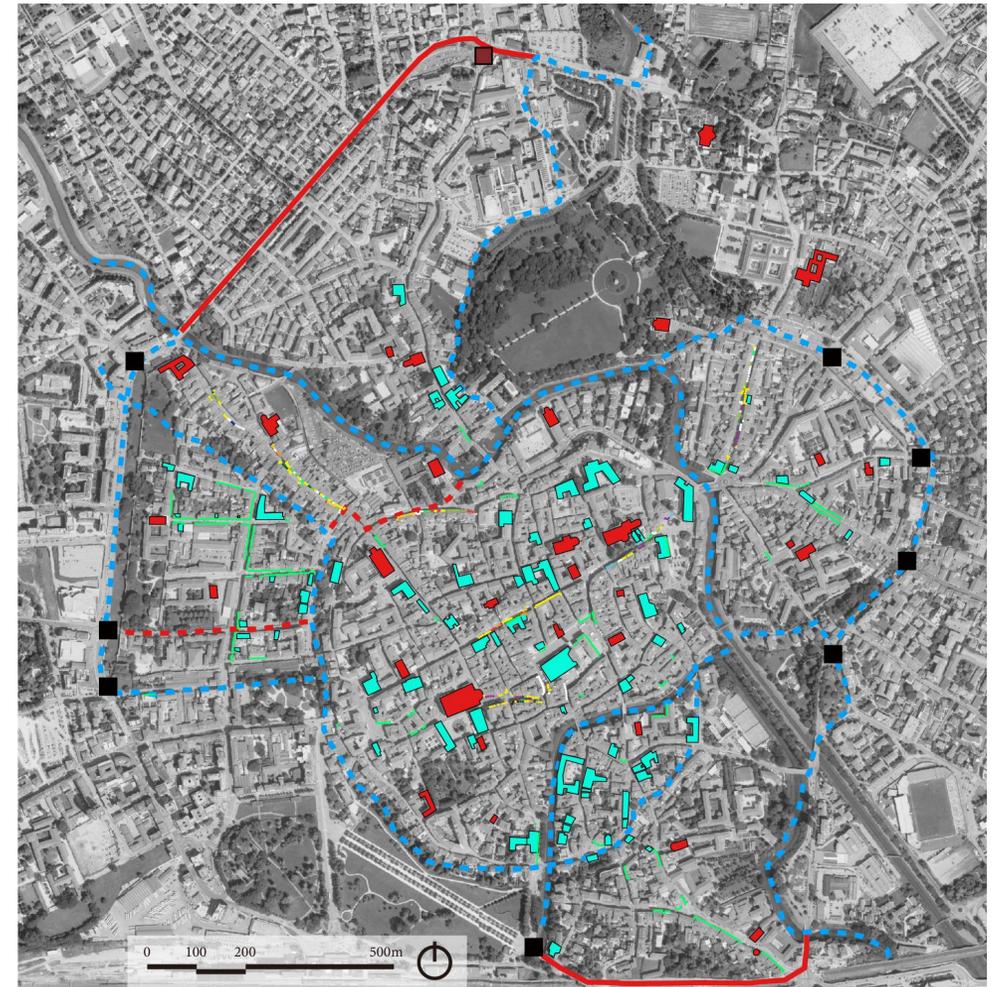
ポルティコは、中心地の東西にかけて伸びている通りに多くあり、15-16世紀のポルティコやその時代の貴族の邸宅が多くあったことがわかった。



15世紀のポルティコを持つ貴族の邸宅  
撮影：岩谷



中世都市によく見られる建物の形状（スキエラ型） 作成：岩谷



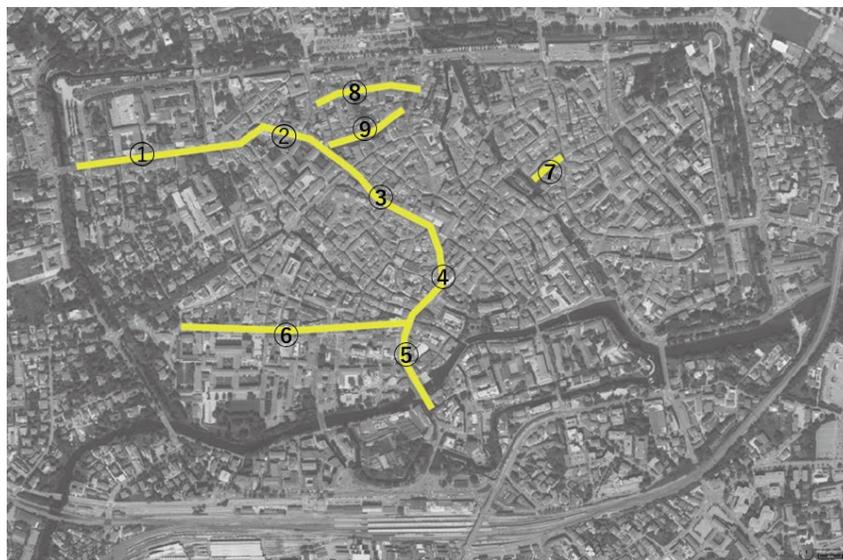
検証したポルティコの形状の分類、貴族の邸宅、宗教施設の分布  
作成：岩谷、久安、樋渡

# Treviso 岡部和真

## ・研究成果

トレヴィーゾの主要であったと推測される通りを取り上げた（下図の①、②、③、④、⑤、⑥）。全体的に、近代から現代までの比較的年代が新しいポルティコが多くみられたものの、ゴシック様式のものや、15-17世紀の様々な年代のポルティコがみられ、今もなお継承されていることが推測される。

次に、中心部から外れた通りを取り上げた（下図の⑦、⑧、⑨）。ポルティコについては、近代から現代までのポルティコよりも、15-17世紀のポルティコが多くみられ、主要である通りよりも、古い通りである事が推測される。



検証する通りの位置（樋渡、岡部作成）

- ①ボルゴ・カミッロ・ベンソ・コンテ・ディ・カヴール通り
- ②アントニオ・カノーヴァ通り
- ③カルマジョレ通り
- ④x x セッテンプレ通り
- ⑤コルソ・デル・ポポロ通り
- ⑥サン・ニコロ通り
- ⑦ヴィーコロ・ペスケリーア通り
- ⑧ドッティ通り
- ⑨ロジヤ通り



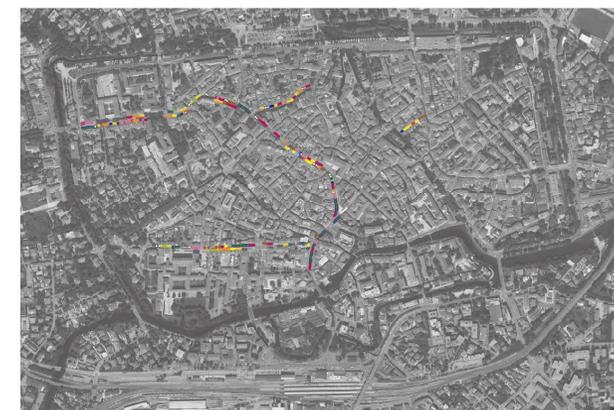
①で見られた、17-18世紀のポルティコ（推測）  
（撮影：岡部）



④で見られた、14-15世紀のポルティコ（推測）  
（撮影：岡部）



⑦で見られた、ゴシックのポルティコ（撮影：岡部）



検証したポルティコの形状の分類  
（作成：樋渡、岡部）

## ・研究成果

メストレはヴェネツィアの近郊都市として古くから深い関わりがあり、現在ではヴェネツィアに観光するための宿泊場所としても利用されている。現在のメストレは駅前を中心に大規模な住宅開発が進んでおり、ポルティコが密集して残っているのは、そこから離れた旧市街地のパラッツォ通りとフェレット広場が主である。

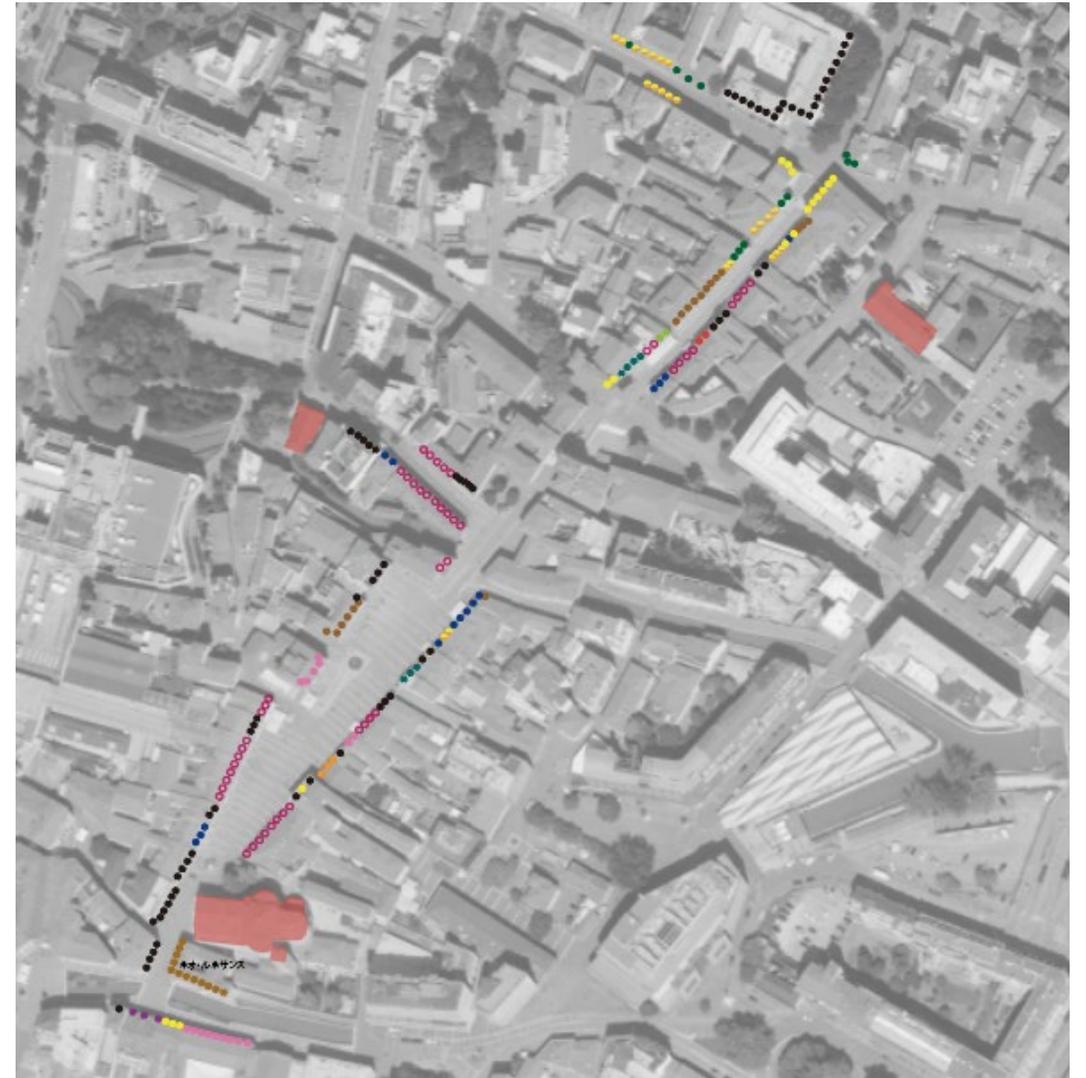
メストレに残る多くのポルティコの形状から、17世紀以降に建設されたと推測した。比較的新しい建物が多い街であるが、なかにはゴシック様式や15世紀のポルティコも複数確認できた。



メストレの塔を活用した  
時計台  
撮影：有田



ポルティコの連続するパラッツォ  
通り  
撮影：有田



検証したポルティコの形状の分類  
作成：有田雄一郎、樋渡彩

## まとめ 西真人

### ・現地での気づき

約1月旅行で感じたのは、外国人は日本人ほどきっちりしてなくて仕事中に携帯触ったりタバコ吸ったりしていた。それがいい悪いは置いて張り詰めないで仕事することも大切だなって思った。そして、仕事仕事というよりもプライベートを充実させるために働いている様に感じた。日本では仕事仕事となりがちだがイタリアの形が本来あるべき姿なのかなと感じ、そんな風に人生過ごしたいと思う。

いろんな人がいて毎日刺激的な1カ月を過ごすことができた。この経験から将来海外で働きたいという気持ちが強くなり海外で働くという明確な目標を見つけられたのがこの旅での最大の収穫だった。



パドヴァの夜の街み  
撮影：西



パドヴァの市壁の一部  
撮影：西



世界最古の植物園  
撮影：西



市場の様子  
撮影：西

・現地での気づき

私は、海外に行くことが初めてで、現地では、いろんな人種の方々が生活しているのが非日常的な空間だった。道を聞くだけだが言葉の壁があったり、外食をしようとしても文化の違いがあったりとこの中で生活するのは、いろいろ苦労が多かったが、いろんな人との関わりの大切さは、このイタリア調査を通して一番大きな気づきだった。



現地の方  
撮影：岩谷



ジェラートのお店の店員さん  
撮影：岩谷



食事の様子  
撮影：岩谷



ヴィチェンツァ大聖堂  
撮影：岩谷



ヴィチェンツァ大聖堂の中の様子  
撮影：岩谷



バシリカ・パラディアーナ  
撮影：岩谷



自炊の様子  
撮影：岩谷

## まとめ 岡部和真

### ・現地での気づき

今回の調査で、ポルティコだけでなく、都市の特徴、文化、人など現地でしか味わえない体験ができた。特に印象深く残っていることは、「人」である。訪れる前は、不安や、怖さがあったが、実際に様々な人と関わってみると、気さくで明るい人が多く、時には自分たちが困っているときに助けてくれる人もいた。

インターネットや、人から聞いた話などの情報と、自分の目や肌で感じたことの差が大きく、良い経験ができた。

今後社会に出て、人との出会いを大切にし、自分自身で物事をしっかり判断できるようになりたい。



シニョーリ広場  
撮影：岡部



水辺の風景写真  
撮影：岡部



広場の内部写真  
撮影：岡部



運河の風景  
撮影：岡部



中心部の街並み  
撮影：岡部



町の西側に位置する市門  
撮影：岡部

・現地での気づき

1ヶ月のヨーロッパの滞在のうち、メストレでは2週間と最も長い時間を過ごした。飲食店で会った現地の方の表情豊かなコミュニケーションや、ゆっくりと夜の市街地を散策したりと短期間の調査で訪れるだけでは感じることはできない体験をすることができた。自分自身初めての海外旅行で日本と違う街並みや食事、コミュニケーションなど文化の違いに多くの感動を受けた。この1ヶ月で経験した文化への理解をこれからの人生で多様性を認め合える環境づくりに貢献していきたいと思う。



メストレの中心地  
撮影：有田



メストレの教会  
撮影：有田



食事の様子  
撮影：有田



ホテルで出会った猫  
撮影：有田

## まとめ

この度は、このような経験をする機会を与えてくださった前田記念工学振興財団の助成金における関係者の皆様に深く感謝を申し上げます。今回参加したメンバーそれぞれが海外に興味がありましたが、このような長期間に及ぶ滞在は前田財団の協力無くしては叶えられませんでした。

ヴェローナでみたオペラは石造りの段差がそのまま客席として利用されていたり、ヴェネツィアの水と建物が一体となることで見られる街並みなど、古いものを残し活用する文化が日本より根強くよく残っていると感じました。

また、タクシーの運転手や宿泊先のオーナー、飲食店の店員さんなどが親身になって話を聞いてくれる姿は、不安の大きかった海外での生活をよりリラックスしたものに変えてくれました。

3か国での滞在中、日本と違う景色、文化、言語を肌で感じ、日本にいただけでは体験できない生活、感動を味わうことができました。

今回の経験で一人一人学び吸収したことをこれからの社会生活に生かしていきたいと思います。

以上、一連の研究成果を卒業論文としてまとめ、2024年3月に日本建築学会中国支部で発表する予定です。

Barcelona



Paris



Mont Sant - Michel



Roma



Roma



Paris



Paris



Verona



Venezia



Amalfi

